

2025年8月14日

各位

会社名 トレンダーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒川 涼子
(コード番号 6069 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 田中 隼人
TEL 03 (5 7 7 4) 8 8 7 6

2026年3月期 第1四半期決算における想定質問と回答

当社は、2026年3月期第1四半期決算において想定されるご質問とその回答を、下記のとおり開示いたします。

Q1. 第1四半期（4－6月）の業績の総括は？業績予想に対する進捗は？

2026年3月期第1四半期の売上高は1,695百万円（YonY+11.8%）、営業利益は84百万円（YonY▲57.2%）、経常利益は124百万円（YonY▲36.7%）、親会社株主に帰属する当期純利益は61百万円（YonY▲50.2%）と増収減益での着地となりました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

【マーケティング事業】

マーケティング事業の売上高は1,667百万円（YonY+16.1%）、売上総利益は822百万円（YonY+11.3%）、営業利益は82百万円（YonY▲60.1%）となりました。

注力領域である美容マーケティング領域のうち、インフルエンサーマーケティングは施策実施のリードタイム等の関係で粗利YonYは▲12.2%となったものの、Mimi Beautyは粗利YonYが+4.4%と成長トレンドに回帰いたしました。また、zenplus社の新規連結により、イベント領域の粗利が前年同期の4百万円から62百万円へと大幅に増加いたしました。

販売費及び一般管理費については、zenplus社の新規連結及びのれん償却開始によりYonY+35.1%と増加しましたが、当該影響を除く販管費の増加はYonY+5%程度に止まっております。

以上の結果、マーケティング事業の営業利益はYonY▲60.1%の減益となりました。

【インベストメント事業】

インベストメント事業の売上高は28百万円（YonY▲65.0%）、売上総利益は28百万円（YonY+11.4%）、営業利益は27百万円（YonY+11.6%）となりました。

前期は第1四半期において営業投資有価証券の売却（売上高55百万円、売上総利益・営業利益ゼロ）があった一方で、今期は売却が生じず減収となりましたが、社債の受取利息の増加により売上総利益、営業利益は増益となりました。

※YonY：前年同期比

※粗利：売上高から売上高に紐づく変動費を差し引いた限界利益

Q2. 2026 年 3 月期の通期業績予想に対する進捗は？

2026 年 3 月期の連結業績は、売上高 8,700 百万円（YonY+40.5%）、営業利益は 1,300 百万円（YonY+31.5%）、経常利益は 1,300 百万円（YonY+31.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は 800 百万円（YonY+33.2%）と予想しており、第 1 四半期終了時点では、売上高の進捗率は 19.5%、営業利益は 6.5%、経常利益は 9.5%、親会社株主に帰属する当期純利益は 7.6%となっております。

2026 年 3 月期については、新規連結した zenplus 社が下期偏重であることに加え、インフルエンサーマーケティング、Mimi Beauty の案件及び売上高が第 2 四半期以降に偏重していることから、売上高・各段階利益ともに下期に偏重する予定です。そのため、第 1 四半期終了時点において通期連結業績予想に対する各段階利益の進捗率は低いものの、期初計画通りの推移となっております。

なお、zenplus 社について通期売上高計画約 20 億円に対し、第 1 四半期の売上高は約 2.6 億円と進捗率は低いものの、第 2 四半期以降については現時点で約 17 億円分のイベント実施等を見込んでおり、さらなる受注増加を目指して営業活動を推進しております。また、インフルエンサーマーケティング、Mimi Beauty についても、足元の営業活動は好調に推移しており、通期業績予想の達成に向けては順調に進捗しております。

Q3. zenplus 社の PMI の状況は？

2025 年 3 月に完全子会社化したイベントの総合プロデュースを手掛ける株式会社 zenplus について、M&A の成立から約 5 カ月が経過しましたが、順調に PMI は進捗しております。

具体的には、2025 年 4 月以降、当社顧客へのイベント企画・運営の提案活動を積極的に実施しており、既に複数案件の受注に至っております。また、zenplus 社にて過去にイベントを実施した顧客に対する SNS マーケティング施策の提案活動も進めており、当社グループとして重視している取引ブランド数の拡大、1 ブランド当たりの受注額の向上を見込んでおります。

Q4. アイススタイル社との資本業務提携発表後の進捗はどうか？

2024 年 2 月に資本業務提携を開示しましたアイススタイル社との協業については、化粧品の商品情報とそれに紐づくユーザーのクチコミ情報を中心とする韓国最大級のビューティプラットフォーム

「GLOWPICK」を韓国国内で運営するアイスタイル韓国子会社の Glowdayz 社との協業を 2024 年 8 月より開始し、2025 年 7 月末までの韓国コスメブランドからの累計受注額は約 1.1 億円となりました。

また、当社の既存取引ブランドに対して、アイスタイル社の広告メニューの営業活動を行い、2024 年 3 月から 2025 年 6 月の累計で約 3.7 億円を販売するなど、提携による効果が発現してきております。

※資本業務提携の詳細は、2024 年 2 月 14 日開示の適時開示資料をご参照ください

<https://www.trenders.co.jp/ir/wp-content/uploads/sites/2/2024/02/20240214-5.pdf>

以上

【免責事項】

本資料は、トレンダーズ株式会社（以下「当社」といいます）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の勧誘を構成するものではありません。本資料には、当社の計画や戦略、業績の見通し等、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、別段の記載がない限り本資料の発表日現在における当社が入手可能な情報並びに当社の計画及び見込みに基づいた当社の想定、将来の見通し及び推測が含まれますが、これらが達成される保証はありません。経済状況の変化、顧客企業の嗜好及びニーズの変化、他社との競合、法規制の変化環境、その他の様々な要因により、将来の予測・見通しに関する記述は実際の業績と大幅に異なる場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。また、独立した公認会計士または監査法人による監査またはレビューを受けていない、過去の財務諸表または計算書類に基づく財務情報及び財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご了承ください。当社は、適用ある法令又は証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新又は改訂する義務を負うものではありません。本資料には、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計その他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。